

幼稚園の待避訓練について

及川ふみ

幼稚園の防空訓練には、幼児たちに専ら待避訓練と避難訓練が何よりも大切な事で、この訓練を日頃充分行つておかなければならない事は云ふまでもない事である。各園でその環境なごも異つてゐる事であらうから待避の場所、方法なごについて細かい點まで留意して實際に適切な訓練の實行が大切な事である。

特記するべきものでもないが當園での防空訓練の實際の數項を擧げてみるこ

一、待避場所の移動訓練

一組づゝ集團的に移動訓練

竝らぶ順は平常定められたる通りにするこごなご特に注意して、先を争つて混亂におち入らない様に訓練するこ

い。

尙幼稚園では三十人なり四十人なりの多數の幼児を一人の保姆が指揮監督してこの訓練をする外實際の場合には防火救護の任にあたらなくてはならない時もある得る事であ

るから平常から隣の組の保姆との連絡を緊密にしておいて一人の保姆が二組を一緒に指揮監督出来る様なこごにも訓練しておかなくてはならない。

幼稚園 幼児の防空訓練について切實に考へなければならぬ時にあたり、その實施する二三をあげて誌友の御指導を乞ふ次第である。

一、一般の防空訓練に参加する以外、毎月大詔奉戴日に幼稚園として防空訓練の實施

一、訓練空襲警報發令直後幼稚園では警笛により全園幼児に空襲警報發令をしらせる

一、幼児は警笛を聞くこ直ちに受持保姆のこごりに集合する事

一、幼児の頭にかぶる帽子、座ぶきんを手早く持つて來て各自がかぶる事

一、保姆の指圖により速かに机の下なごに眼をおさへて伏せる事(二十分間位)